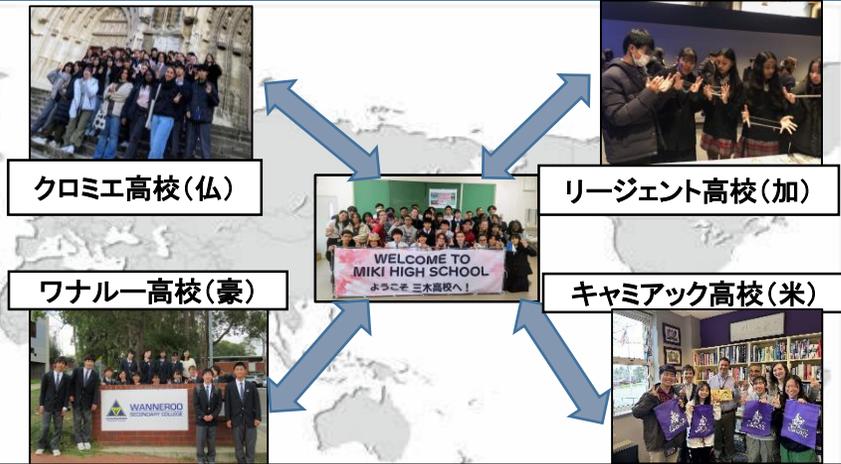


「未来社会を共創する5Csを備えたグローバルリーダーの育成～世界に通用する18歳～」

Collaboration, Communication, Creativity, Critical Thinking, Cross-Cultural Understanding

【目的】
 これからのグローバル社会において必要とされる21世紀型4つのスキル『4Cs』（**Collaboration, Communication, Creativity, Critical Thinking**）に、日本社会で弱いと言われている「異文化理解力（**Cross-Cultural Understanding**）」の視点を加え、日本の学校教育で5つの力（5Cs教育）を育成するための効果的な教育プログラム等の開発に取り組むことにより、グローバルリーダーの育成を目指す。

世界のパートナーシップのハブ



世界4か国にある姉妹提携校と相互交流により、課題研究のフィールドワークや英語によるプレゼンテーションやディスカッションの機会を増やし、5Cs教育を推進。（アジア諸国との交流も目指す。）

連携・接続・交流・協働・還元



地域のグローバル化の拠点

【地域との連携】
 ・三木市、三木市国際交流協会、小野市国際交流協会
 三木市商工会議所、三木ロータリークラブ、NPO法人 This is Miki, Motto ZutoMiki、北播磨県民局 等

【企業との連携】
 ・ハリマ化成(株)、東レ未来創造研究センター、ソフトバンク、地元企業(金物、山田錦関連企業等)、(株)豆電球

【大学との連携】
 ・神戸大学、兵庫教育大学、岡山大学、兵庫県立大学、甲南大学、関西学院大学、関西国際大学、神戸松蔭女子学院大学等

◆運営指導委員会の設置(事業成果等について検証)

地域や企業、大学等との連携を強化により、地域課題(地域に住む外国人との共生等)の解決を目指した課題研究の学びの深化と質の向上を図り、5Cs教育を推進)

◆マイクロプロジェクトの実施

【実施方法】
 ・「総合的な探究の時間」「国際研究Ⅰ・Ⅱ」等で協働力の育成を踏まえた探究活動方法を開発。
 ・全教科において計画的に年間1回マイクロプロジェクトを実施。

【評価方法】 独自のルーブリック作成
 全員参加型全校一斉発表会開催

◆文理探究的な学びの推進

【実施方法】
 ・新学校設定科目「情報活・応用」等の開設
 ・三木市・ソフトバンク・インディアナ大学と連携した「AIロボット開発」
 ・長期休業中の特別講座開設
 ・教員研修・先進校視察の実施

【評価方法】 受講者数、参加者数等

◆英語力の強化

【実施方法】
 ・ネイティブ教員4名を活用した実践英語の充実
 ・習熟度・少人数による英語授業の実施
 ・「音読メーター」を活用した自律型学習の確立
 ・「英語トップアッププログラム(仮称)」の実施
 ・小中連携の実施(教員セミナー等)

【評価方法】 外部検定試験等の取得率等

◆異文化理解力

【実施方法】
 ・海外交流・海外研修の実施
 ・地域外国人による特別授業
 ・外国人小中学生の学習支援
 ・長期留学生の受け入れ

【評価方法】 ルーブリック作成